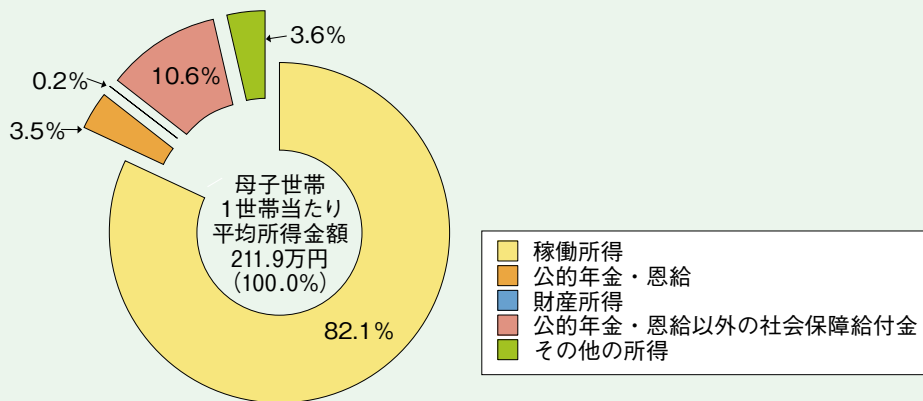


図表1-1-3 母子世帯の所得構成



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「国民生活基礎調査」(平成18年)

(注) 1. 平成17年1月から12月までの1年間の所得である。

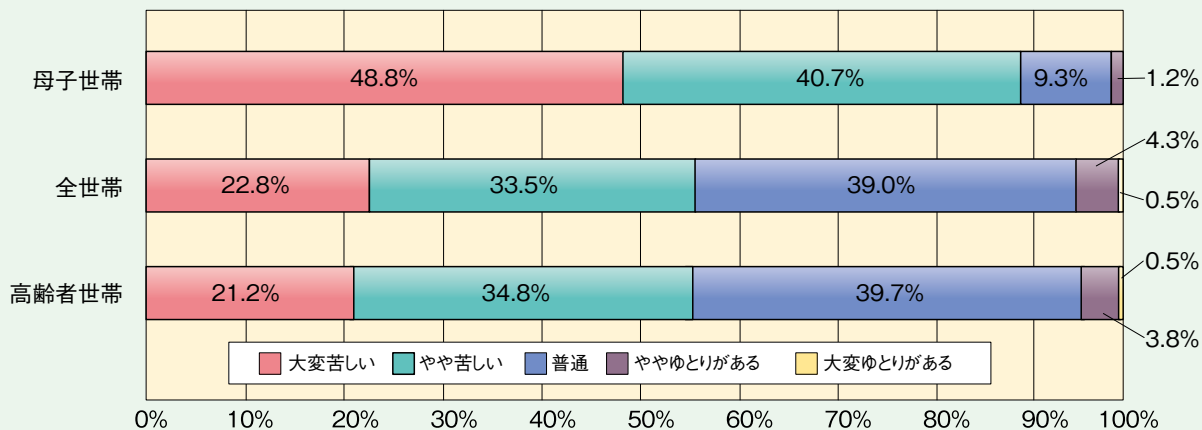
2. 「母子世帯」は客体が少ないため、数値の使用には注意を要する。

平成19(2007)年における母子世帯の完全失業率は7.1%（一般世帯の完全失業率は3.9%）となっており、前年の7.0%（一般世帯は4.1%）と比べてほぼ横ばいとなっている（総務省統計局「労働力調査」）。

3 暮らし向きについての意識

母子世帯の現在の暮らしについて、総合的にみてどのように感じているかをみると、「大変苦しい」が48.8%、「やや苦しい」が40.7%となっており、前年調査結果（「大変苦しい」52.8%、「やや苦しい」27.0%）と比べ、暮らし向きが「大変苦しい」と感じている者の比率は低くなったが、「やや苦しい」と感じている者の比率は高くなっており、全世帯や高齢者世帯と比べても、暮らし向きが苦しいと感じている者の比率が高い（厚生労働省大臣官房統計情報部「国民生活基礎調査」(平成18(2006)年)図表1-1-4）。

図表1-1-4 暮らし向きについての意識



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「国民生活基礎調査」(平成18年)

(注) 1. 「全世帯」とは、「母子世帯」及び「高齢者世帯」を含む全世帯の数値である。

2. 「母子世帯」は客体が少ないため、数値の使用には注意を要する。